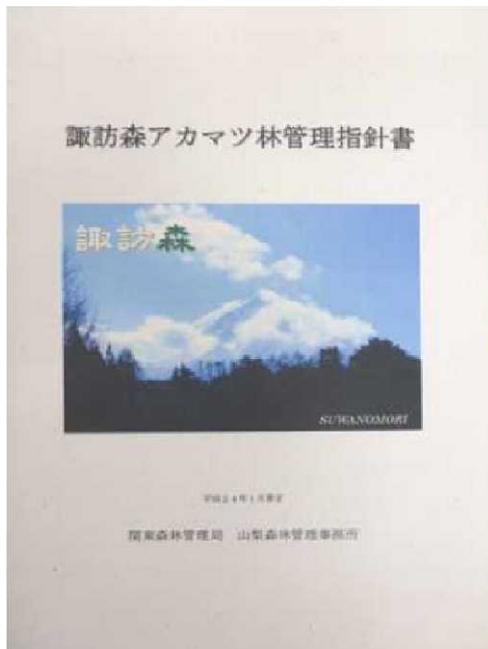


平成25年度に樹立・策定する山梨東部森林計画区の概要

1 森林計画区の概要



諏訪森アカマツ林管理指針書を策定(H24.1)



諏訪の森のアカマツ林と富士山

ア 位置

当計画区は山梨県の東部に位置し、富士吉田市、に所在する国有林16haが計画の対象です。

イ 国有林の特徴

- 当計画区の国有林は、富士山北東の裾野に広がる平坦地に位置し、全域が富士箱根伊豆国立公園に指定されており、寛永年間(1624~1643)に植栽されたアカマツを起源とし、天然更新が繰り返された天然アカマツ林で構成されるなど、貴重な植物群落を維持しており、史跡名勝天然記念物に指定されています。
- 登録を目指している富士山世界文化遺産の構成資産の一つである吉田登山道の起点付近に位置していることもあり、適切な管理を行うため、「諏訪の森アカマツ林管理指針書」を作成したところです。

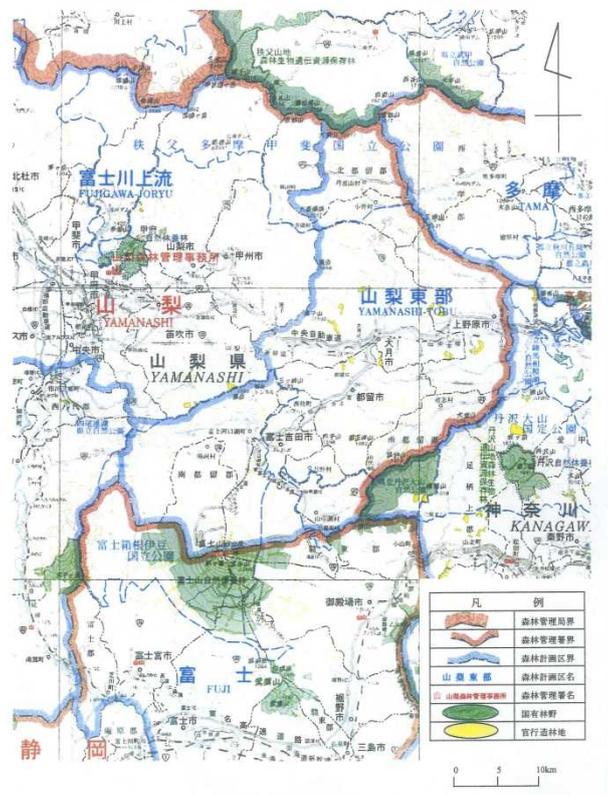
ウ 森林資源の状況

人工林面積は1ha、天然林面積は13haです。

人工林(面積割合)は主に、アカマツ(79%)で、36年生~60年生です。

天然林は、全域がアカマツ林となっています。

山梨東部森林計画区の国有林野位置図



2 現行計画の概要

ア 保護林

| | | |
|-----|-----|------|
| 保護林 | 1箇所 | 11ha |
|-----|-----|------|

イ レクリエーションの森

| | | |
|------|---|---|
| 該当なし | - | - |
|------|---|---|

ウ 国民参加の森づくり

| | | |
|------|---|---|
| 該当なし | - | - |
|------|---|---|

エ 伐採・保育事業量

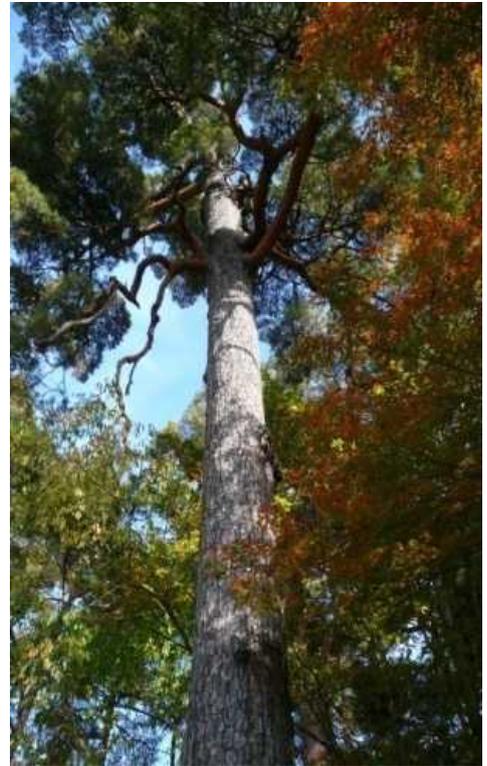
| | |
|------|-------|
| 主伐 | 500m3 |
| 間伐 | 11m3 |
| 人工造林 | - |
| 天然更新 | - |
| 下刈 | - |
| つる切 | - |
| 除伐 | - |
| 枝打 | - |

オ 林道の事業量

| | | |
|------|---|---|
| 該当なし | - | - |
|------|---|---|

カ 治山の事業量

| | |
|------|---|
| 該当なし | - |
|------|---|



諏訪の森のアカマツ大径木



3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源の涵養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 国有林野の有する公益的機能のより一層の発揮のため、これまでの3機能
 類型を5機能類型に見直し。
- (2) アカマツ林の保全、松くい虫防除対策を推進。
- (3) 保護林などでモニタリングを実施し、今後の取扱いに反映。

(参考1) 森林資源の現況

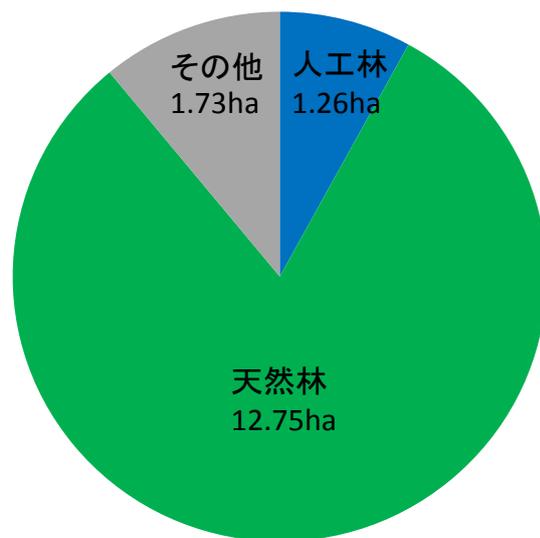
○市町村別森林面積等

| 市町村名 | 市町村面積 A (ha) | 森林面積 B (ha) | うち国有林 C (ha) | 森林率 D=B/A(%) | 国有林率 E=C/B(%) |
|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 富士吉田市 | 12,183 | 8,517 | 16 | 70 | 0.2 |
| 都留市 | 16,158 | 13,616 | - | 84 | - |
| 大月市 | 28,030 | 24,321 | - | 87 | - |
| 上野原市 | 17,065 | 13,994 | - | 82 | - |
| 道志村 | 7,957 | 7,468 | - | 94 | - |
| 西桂町 | 1,518 | 1,207 | - | 80 | - |
| 小菅村 | 5,265 | 4,934 | - | 94 | - |
| 丹波山村 | 10,155 | 9,872 | - | 97 | - |
| 忍野村 | 2,515 | 1,352 | - | 54 | - |
| 山中湖村 | 5,281 | 3,093 | - | 59 | - |
| 富士河口湖町 | 15,851 | 11,477 | - | 72 | - |
| 鳴沢村 | 8,956 | 7,761 | - | 87 | - |
| 計 | 130,934 | 107,612 | 16 | 82 | 0.01 |

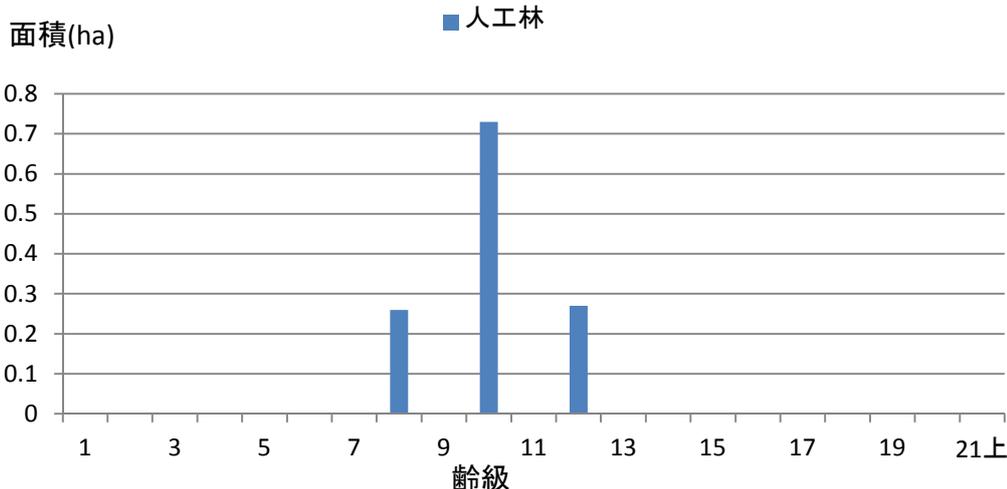
注) 1. 市町村面積は、H20山梨県資料による。
2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。



○人工林・天然林別割合



○齢級別面積



人工林の齢級別は、8 齢級 (36年生)～12 齢級 (60年生) となっており、計画的に間伐を実施し、林分密度を適切に調整していく必要があります。

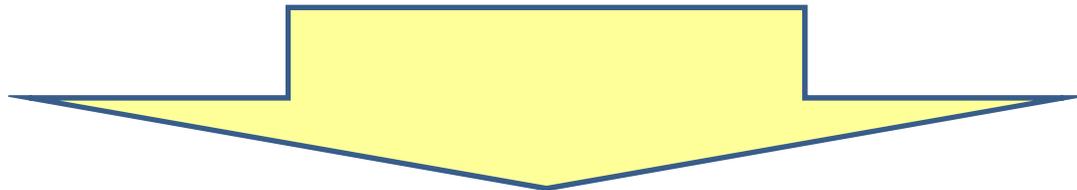
(参考2)機能類型

機能類型区分について

国有林を重視すべき機能に応じた機能類型に区分し、機能類型にふさわしい管理経営を推進。

○機能類型区分（現行）

| 機能類型区分 | | 機能類型区分の考え方 | 管理経営の考え方 | 比率 |
|-----------|-----------|--|---|-----|
| 水土保全林 | 国土保全タイプ | 土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林 | 根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等の推進 | — |
| | 水源かん養タイプ | | | — |
| 森林と人との共生林 | 自然維持タイプ | 原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全、国民と自然とのふれあいの場としての利用を図ることを重視する森林 | 野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等 | 97% |
| | 森林空間利用タイプ | | | — |
| 資源の循環利用林 | | 環境に対する負荷の少ない素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林 | 森林の健全性を確保し、多様化する木材需要に応じた林木を育成するための適切な更新、保育及び間伐等の推進 | 3% |



○機能類型区分（見直し後）

| 機能類型区分 | | 機能類型区分の考え方 | 管理経営の考え方 | 比率 |
|-----------|-----------|--|---|-----|
| 山地災害防止タイプ | 土砂流出・崩壊防備 | 山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林 | 根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持 | — |
| | 気象害防備タイプ | | | — |
| 自然維持タイプ | | 原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林 | 良好な自然環境を保持する森林、学術的に貴重な動植物の生息に適した森林の維持 | 97% |
| 森林空間利用タイプ | | 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林 | 保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成 | — |
| 快適環境形成タイプ | | 快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林 | 汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持 | — |
| 水源涵養タイプ | | 水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林 | 人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮 | 3% |

(参考3) 保護林及び緑の回廊

| 区分 | 目的 | 箇所数 | 面積 (ha) |
|----------------|--|-----|---------|
| 保護林 植物群落保護林 | 我が国又は地域の自然を代表するものとして植物群落等の維持、学術研究等に資することを目的とします。 | 1 | 11 |

